

令和2年度第一期特別支援教育専門研修において 肢体不自由教育専修プログラムを受講する方へ

1. 講義に関連する資料の準備について

以下の講義に関連した資料について、それぞれ準備の上、ご提出ください。

開講日当日に提出いただくものと講義の際に持参いただくものがありますので、ご注意ください。

なお、いずれの資料も本研究所の研究活動推進のための参考資料として活用させていただく可能性もありますので、ご承知おきください。

開講日当日に提出いただくもの

「小・中学校に在籍する肢体不自由児の学びを支援する特別支援学校のセンター的機能」協議資料

上記講義の中で、研修員の勤務校における小・中学校との連携や支援の現状と課題を基にグループ協議を行いますので、以下の資料を各自ご持参ください。

①別紙様式に沿った協議資料

資料作成後、紙媒体で10部ご持参ください。

※様式の電子ファイルを希望される場合は、ホームページからダウンロードしてください。

②協議の際に補助となる資料（※もしあれば）

勤務校のある地域の小・中学校(特別支援学級)や、勤務校と小・中学校との連携や支援に関する資料があれば、紙媒体10部をご持参ください。

開講日当日に、①及び②を各1部ずつご提出ください。提出の際は、クリップでまとめる又はクリアファイル等に入れてご提出ください。残りの9部は、講義当日まで各自で管理をお願いします。

2. 講義に関連する教材等について

(1)「肢体不自由教育における教材・支援機器の活用—教材制作—」「重複障害のある子供の環境の把握とコミュニケーション」「摂食困難への対応」の講義の中で行う演習(実習)に必要な教材代として、実費(3,500円程度)がかかります。

教材制作においては、作ったことのある人もいますが、今回の演習は作る事を通して「どのように研修を運営するか」ということを主眼に考えています。また、作った後の活用するための協議も大切だと考えていますので、ご理解の上、参加していただきたいと思います。尚、必要な機材やテキスト、工具等はこちらで用意します。

(2)「重い障害がある子供のPerson-Centered Planningに基づく教育実践」では、図書『ぱれっと(PALETTE)〜子どもが主体となる教育計画と実践を目指して〜(ジアース教育新社)』を使用します。お持ちの方は、ご持参ください。お持ちでない方には、当日貸し出すこともできます。

(3) 講義で身体を動かす講義や演習があります。身体を動かしやすい服装と体育館履きをご用意ください。

(4) 演習・実習で大きめのバスタオルを使用しますご持参ください。(実習・演習で臥位姿勢になった時の枕代わり)

(5) 下記に示した学習指導要領及び各種解説をご持参ください。(データでも可とします。)

平成29年公示 小学校学習指導要領

平成29年公示 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領

平成31年公示 特別支援学校高等部学習指導要領

平成30年 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領解説(総則編・各教科等編・自立活動編)

〈本件に関する連絡先〉

肢体不自由教育専修プログラム 運営代表

情報・支援部 北川 貴章

(E-Mail:t_kitagawa@nise.go.jp Tel:046-839-6809(直通))